



京浜東北・根岸線の乗務員基地再編成施策の概要について修正説明を受ける

大宮地本は、本日大宮支社より「京浜東北・根岸線の乗務員基地再編成施策の概要について」の修正説明を受けました。

これは、本部一本社申9号「施策実施に関する確認メモに基づく施策実現を求める緊急申し入れ」での交渉確認である。「議論の時間を保証し施策実現に向け議論を行う」「早急にスケジュールの見直しを行い示していく」の確認に基づき示されたものです。

1年以上の闘いを職場でつくり出し今施策では2回目となる修正を引き出しました！

〔内容〕修正前—東神奈川車掌区、東神奈川電車区は、平成27年12月の横浜運輸区（仮称）、相模原運輸区（仮称）発足時に廃止。

修正後—東神奈川車掌区、東神奈川電車区は、平成28年3月の横浜運輸区（仮称）、相模原運輸区（仮称）発足時に廃止。

□修正に至った経緯について会社説明

・本部一本社の交渉経緯は把握している。今施策は横浜支社・東京支社・大宮支社の関係支社として調整が必要である。鋭意準備は進めてきたがスケジュールがタイトになっている中、十分な検討が必要と判断した。

□確認事項

- ・横浜支社管内でのスケジュールの変更だが、大宮支社としても基地再編成施策を2年かけて労使議論していく認識は変わらない。
- ・本部一本社「施策実施に関する確認メモ」「議論経過メモ」等での労使確認を遵守し、スケジュール含めて大宮支社としても対応していく。
- ・労使合意を行い、安全・輸送品質を向上させる基地再編成施策を目指し議論していく。今後スケジュール等を議論しながら職場に不安を与えない施策をつくり出していく。

本部一本社 交渉は9月15日！



ダイヤ改正の検証運動で明らかになった実態に踏まえ
安全・輸送品質が向上する施策の実現を目指そう！